

子どもの行動を考える

診療部：臨床指導科心理

氷山モデルの考え方



①言葉を理解したり、話すことが苦手

- ・ 抽象的な言葉は苦手
- ・ 字義通りの理解
- ・ 音そのものを聞き取るのが苦手



• ご飯食べに行こう



• 今日なんのテレビ見るの



• おなべ見てて



• ……と……ではどっちがいいの？

②非言語的メッセージを理解したり、伝えるのが苦手

- ・ 指さし
- ・ ジェスチャー
- ・ 暗黙のルールを理解



③ 感覚過敏、鈍磨

- ・ 視覚

オーバーストローして何も見えなくなる。
原色に弱い



- ・ 聴覚

救急車が通ると耳が痛い。
大きい声で言われると内容がわからない。



- **触覚**

爪切りが痛い。

雨やシャワーが痛い。



- **臭覚**

プールの塩素のにおい、立ち食いそばのみりんと醤油の割合がわかる

- **味覚**

コシヒカリをササニシキにの变更に気付く



- **前庭感覚**
揺れるものは嫌い



- **体内の感覚**
体温調節。
おしっこがたまってる。
疲れてる



④注意の問題

- ・ 集中力を上手にコントロールできないことによって様々なことが起こる。

**→集中したくてもせいぜい40%の集中。
60%は他に散らばった状態。**

**→気になるものがあると一気に注意が逸れる。
やるべきことを忘れてたり、物をなくす。**

→環境により集中力が翻弄される。

→結果的に多動。気が散る。物忘れ。

具体的な感じとしては

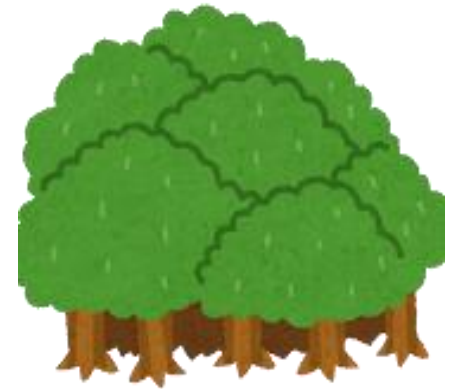
- ・ 運動会のビデオを再生してみたら無闇にいろんな音が入っていた。

写真を撮ったらこんなものまで写っていた。



⑤ シングルフォーカス

- ・ どうやら、見えている世界が狭いらしい。
→ 片づけ も 大変。



- ・ 葉っぱはわかるけど・・・
→ 木、林、森は分からない。

↓でも

葉っぱの形や色がどんなかはよく知っている。

- ・ ひとつのことに飛びぬけた集中力を示し才能を开花させたりする。



⑥順序だてることが苦手

- 人は何かをやろうとするとき
無意識に「まずこれをやって、次にこれをやっ
て、それからこうしよう」
とプログラムをたてるらしい。



⑦物事の重要性の違い

- ・ 常識的にこの状況では、ここに注目するだろうというときに違うものを見ていたりする。
- ・ 幼稚園、保育園では先生が説明するときは先生に注目、横断歩道では信号



⑧人の表情、感情、考えていることを読み取るのが苦手。

- ・人の顔への志向が弱い
- ・表情や声の抑揚などから相手の感情が読み取れない
- ・人の考えがわからない
- ・心の理論



⑨ 自己認知

- ・ 他人と自分の違いを考える脳の領域がある
- ・ 人のふり見てわがふり直さない

⑩視覚が良い

- ・ 本当に細かいところを良く見ている、覚えることができる。図鑑などに興味を持つとすごい
- ・ 三次元の空間をイメージとして描ける人もいる
- ・ 色彩感覚に優れている
- ・ 見るとわかる。納得する。(図、表、写真、漫画などから色々学んだりする。)

⑪記憶が良い

- **エピソード記憶(自分が経験した一連の出来事の記憶)は良い。**
- **意味記憶(学習によって習得する一般的な知識)は良い。興味に左右されやすいが**
 - **きちんと覚えれば学習できる**
 - **知識が増えることで理解に繋がること
がある**

⑫作業記憶

- ・ コンピューターのメモリーにあたるところ？
- ・ 他のことをしながらもやるべきことは覚えているとか
- ・ ……して…して…してね。

⑬ 不器用



- まわりが思っているよりも大変
- 遊びが広がらなかったり、一人で遊べなかったり、日常的な動作で遅れをとる。
- 字が書けなかったりすると勉強嫌い
- でも複雑な動きでなければ結構できるようになることは多い。

再びまとめると

子どもの困った行動・気になる行動

など

言葉の理解表

出

非言語メツ

セージの理解
表出

感覚過敏鈍磨

注意

シングルフォー

カス

人の感情などの
理解の困難

重要性の違い

記憶が良い

作業記憶

不器用

例えば～

**園で先生が前ですることの説明を
するといなくなります。**

- ・ **氷山の下の問題は何か？**

言葉の理解力の問題なら

→先生が短くわかる言葉で伝える

聴覚過敏の問題なら

→少し小さな声で話してもらう

身体的な要因

- ・ 病気

アレルギー(アトピー性皮膚炎、鼻炎)

- ・ 睡眠

睡眠不足で適切な思考困難



- ・ 疲れ

体だけでなく、頭や気を遣っても疲労

環境的な要因

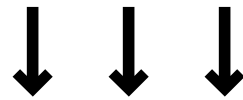
- ・人や物が多い。
- ・うるさい。
- ・何をしたいのかわからない。分からない指示が続く。
- ・いつもと違う。
- ・嫌いなこと、苦手なことが続く。
- ・怒られてばかり。
- ・暑い、寒い、湿度が高い。



従来の対応方法



罰を与える



叩く・叱る・怒鳴る

・・・したら・・・させませんよ！

体罰・叱責の弊害が明らかに

- ・はじめはよくきく
- ・徐々に慣れる
- ・より強い罰が必要になる
- ・悪循環に陥る
- ・人に手が出るようになる



最近考えられている対応方法 1

- ・ もともとの認知的な問題を変えるのはとても困難です
- ・ とにかく原因を究明して、人の対応を含めた環境調整する。

A

B

C

- ・ 先行事象→困った行動→結果事象

例

A

スーパー
でお菓子
を見つける



B

お菓子
買って～
大騒ぎ



C

お菓子を
買って
もらう



→AかCを変える。もしくはAもCも変える。

発達に即した目標をたてる

- — 2歳 ○3歳 □4歳 △5歳 ◇6歳

最近考えられている対応方法 2

環境調整の基本「構造化」「視覚支援」

- ① スケジュールを整える(時間 をみてわかる)
- ② 空間の設定や工夫(何を する場所 かわかる)
- ③ 課題の組織化(その 活動 がどうやればよいかわかる)



今なにをするのか、どの様にするのか、どれだけするのか、
終わったら次はどうするのかを伝える。

①スケジュール(時間)

- ・ 実物を見せる
- ・ 絵や写真を見せる
- ・ 絵や写真＋文字
- ・ 文字だけ見せる

スケジュール使用の注意

- ・ 次の活動だけ、朝だけ、一日、どれだけ伝えるかは考慮する。
- ・ ひとつの活動の時間を考える(長すぎず 短すぎず)
- ・ 嫌いな活動を続けない(片づけ→勉強→着替え。これみんな嫌なことならしません)

②空間の設定や工夫(場所)

- 余計な刺激はなくす。
- 活動の流れを考慮して物を配置する
- できるだけ活動と場所を1対1で対応させる
- 行う活動はどういう順番で どれだけするのか伝える

③課題を組織化

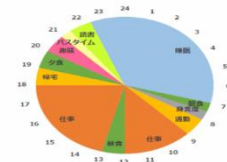


特別なことではありません

- ・ 大企業も考えています
- ・ 公共の場でもやりはじめています。
- ・ 大人だってスケジュール帳もっています。



1日のタイムスケジュール

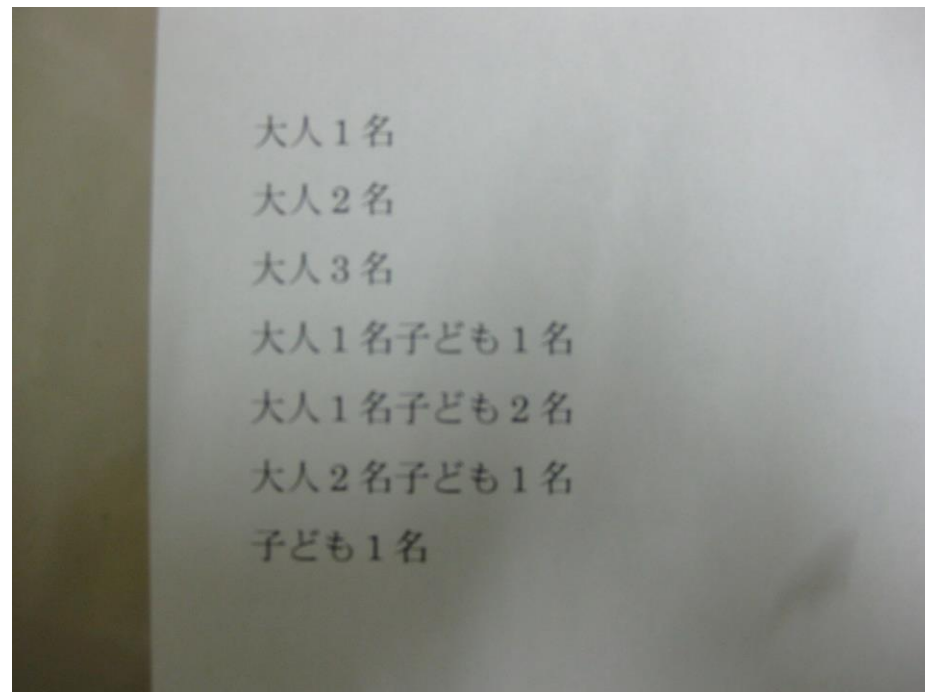


単位：24時間

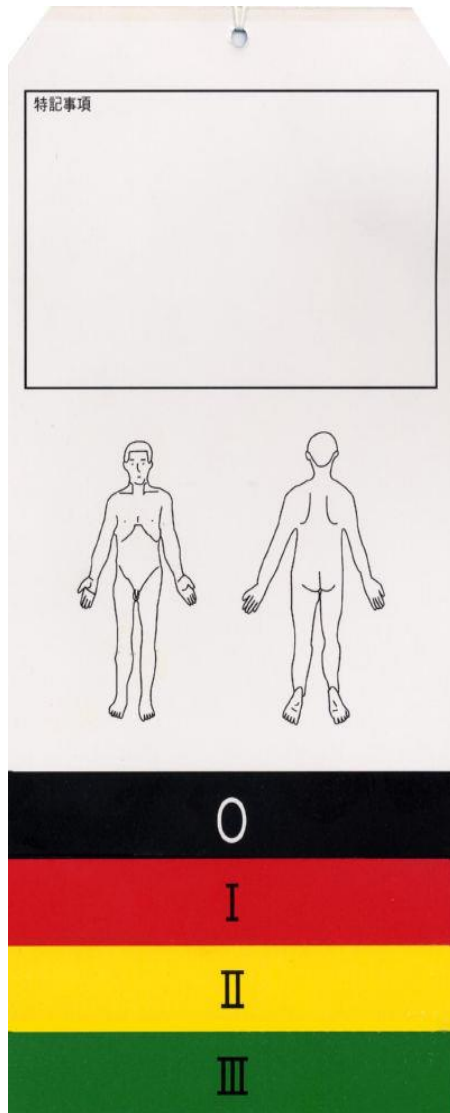
行動予定	開始時刻	終了時刻	所要時間
睡眠	0:00	7:00	7:00
起床	7:00	7:30	0:30
通勤	7:30	8:00	0:30
通勤	8:00	9:00	1:00
仕事	9:00	12:00	3:00
昼食	12:00	13:00	1:00
仕事	13:00	18:00	5:00
帰宅	18:00	19:00	1:00
夕食	19:00	20:00	1:00
勉強	20:00	21:00	1:00
バスタイム	21:00	21:30	0:30
読書	21:30	22:30	1:00
就寝	22:30	0:00	1:30
所要時間合計			0:00

・ グレーアウト以外の項目を記入（自動計算式のみのため）
・ 所要時間合計が0:00（＝24時間）になるように時間を記入
・ 所要時間合計が0:00の場合に注意

どちらが わかりやすいでしょうか？



トリアージ



優先度	分類	色別	身体所見
第1順位	緊急治療	赤(I)	生命が危機的状態 直ちに処置が必要
第2順位	準緊急治療	黄(II)	多少処置が遅れても生命 に影響なし
第3順位	非緊急治療	緑(III)	軽度外傷 通院加療可能
第4順位	死亡	黒(0)	生命兆候なし 直ちに処置を行っても救命 が明らかに不可能なもの

なぜ構造化・視覚支援

- **結局一番、効果があった。**
- **お互いに楽になることが多い。**
- **今何をするのか、どれだけするのか、どんなふうにするのか、終わったらどうするのかを伝える。**

- ・ **だいたいの場合、見通しがあって、できること
ならば、子供はやってくれます**
- ・ **多動な子・知的に高い子は時間がかかる。**

もし問題行動が起きてしまったら

- ・ 危険の防止
- ・ 過剰な刺激は与えない
- ・ トラブルが起きた所から退散



- ・ **落ち着ける場所があればそこに移動**
- ・ **おまじない、魔法の言葉**
- ・ **あくまでも大人は穏やかに対応**



大事なこと



- ・ 楽しいことを増やそう。

- ・ 目標は 高すぎない



- ・ とにかく ほめる

- ・ おしゃべりしていても 言葉に頼り過ぎない

- ・ 危険の防止

- ・ 混乱する前触れに気づいたらすぐに対処
- ・ 困った行動だけに焦点をあてる。
→解決法を望みがちですが、生活全体の見直しが必要です。
- ・ 子どもの得意なところを評価しましょう。
→苦手な所~~を~~なくする より



- ・ 叱らないでも譲らない。
- ・ 大変ですが穏やかに。



おわり

ご静聴

ありがとうございました

